

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度第3回 入間市総合計画審議会
開 催 日 時	令和8年1月19日(月) 午後1時30分 開会・午後2時40分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	三木 敏正 (入間市総合計画審議会会長)
出席委員(者)氏名	大澤 昭彦、岡崎 洋志、黒瀧 孝秀、西澤 和記、篠田 敬子、 田頭 綾、野口 隆司、馬場 珀虎、東野 千尋、三木 敏正、 宮部 圭太郎
欠席委員(者)氏名	齋藤 栄作、寺園 智樹、西澤 明、千葉 弘明
説明者の職氏名	企画課未来共創政策推進室副主幹 村上 俊 企画課未来共創政策推進室副主幹 齊藤 祐樹 企画部副参事 浅見 孝之
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 市民説明会・パブリックコメントの実施結果について (2) 「次期入間市総合計画・基本構想案」について (3) 今後のスケジュールについて (4) その他 4 閉会
非 公 開 理 由	-
傍 聴 者 数	0人

配 付 資 料	<p>第3回 入間市総合計画審議会 次第</p> <p>資料8 : 令和7年度第3回総合計画審議会資料</p> <p>資料9 : 次期入間市総合計画・基本構想(素案)について総合計画審議会委員から寄せられた意見等の概要と市の考え方</p> <p>資料10 : 次期入間市総合計画基本構想(原案)・市民説明会 質疑応答一覧</p>
	<p>資料11 : 次期入間市総合計画・基本構想(原案)に関する意見募集に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方</p> <p>資料12 : 次期入間市総合計画基本構想(原案)</p>
事務局職員職氏名	<p>企画部長 浅見 嘉之</p> <p>企画部次長 片岡 成浩</p> <p>企画課未来共創政策推進室長 山本 優</p> <p>企画部副参事 浅見 孝之</p> <p>企画部副参事 吉田 純子</p> <p>企画課未来共創政策推進室副主幹 村上 俊</p> <p>企画課未来共創政策推進室副主幹 齊藤 祐樹</p> <p>企画課未来共創政策推進室主事 高橋 佑季</p> <p>企画課未来共創政策推進室主事 高野 ロバート悠真</p>
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要（経過）・決定事項

椎名委員の退任に伴い、新委員となった西澤和記委員を紹介した。

議題（１）～（４）について、事務局から説明した後、議論を行った。

- （１）市民説明会・パブリックコメントの実施結果について
- （２）「次期入間市総合計画・基本構想案」について
- （３）今後のスケジュールについて
- （４）その他

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
三木会長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>(1) 「市民説明会・パブリックコメントの実施結果について」及び (2) 「次期入間市総合計画・基本構想案」</p> <p>それでは、議題(1)「市民説明会・パブリックコメントの実施結果について」及び(2)「次期入間市総合計画・基本構想案」を議題とする。 まず、事務局から続けて説明をお願いします。</p>
齊藤副主幹	<p>市民説明会・パブリックコメントの実施結果について、資料に沿って説明する。</p> <p>(資料8～資料11に基づいて説明)</p>
村上副主幹	<p>続いて、次期入間市総合計画・基本構想案について資料に沿って説明する。</p> <p>(資料12に基づいて説明)</p>
三木会長	<p>ただいまの事務局からの説明を踏まえ、意見等はあるか。</p>
宮部委員	<p>資料12の7頁「(2) 財政見通し」の「◆計画期間における財政見通し表」の歳入の表について、自主財源と依存財源の合計が歳入合計となるが、令和10年度以降の歳入合計に誤りがあるように見受けられるため、確認してほしい。併せて、依存財源の推移について伺いたい。</p>
浅見副参事	<p>歳入合計については、表計算のずれが生じ、計算結果が正しく反映され</p>

発 言 者	発 言 内 容
宮部委員	<p>ていないため修正する。依存財源は主に国・県支出金及び地方交付税である。現時点では3年間の実施計画を立てているが、依存財源が大きく変動する見込みはない。</p> <p>財政見通しについては、基本的な認識に異論はないが、人口減少により自主財源が減少するなか、福祉費用の増大や、物価上昇、公共施設更新等が必要となり、厳しい状況が見込まれると考える。埼玉県内の他市町村と比較すると入間市の状況は極端に厳しいわけではないと考える。埼玉県内における入間市の状況を評価しているようであれば伺いたい。</p>
浅見副参事	<p>入間市も現状、厳しい状況の中で予算編成を行っている。埼玉県内の入間市の状況について、評価しているものはないが、一般的に貯金と同じ考えである、「財政調整基金」という側面から少し説明する。「財政調整基金」は一般的に基準財政需要額の1割程度を確保することが望ましいとされており、当市では約28億円が目安となる。現時点で約35億円を保有している当市は一定の備えを確保できていることから、直ちに危機的状況に陥るといったものではない。しかしながら、宮部委員のご指摘のとおり、今後より厳しい財政状況が予想されていることから、予算編成に当たり、厳しい状況下で何を選択すべきか、慎重に検証している。</p>
野口委員	<p>資料12の3頁「10年間のまちづくりの目標」の文章中にある「「こころ」も「からだ」も豊かで幸せを感じられる」の表現について、「こころ豊か」は一般的に用いるが「からだ豊か」は一般的ではなく違和感がある。また、「障害のある方はからだ豊かではない」といった捉え方につながりかねないと考える。</p>
浅見副参事	<p>「心身ともに健康」といった趣旨が伝わるよう表現の修正を検討する。</p>

発 言 者	発 言 内 容
野口委員	資料12について、カタカナ語が用いられている箇所があるが、理解で
浅見副参事	きない方もいるのではないか。例えば、3頁の「ステークホルダー」や12頁の「DX」には注釈を付けるべきと考える。また、4頁の「ローリング」については、「1年間での見直し」又は「3年間での見直し」等の表現にした方がよい。
浅見副参事	平易な言葉を使用するとともに、一般的に用いられているカタカナ語については注釈を付ける対応を検討する。
馬場委員	資料12の7頁「(2) 財政見直し」の「◆計画期間における財政見直し表」のグラフについて、「棒グラフ」「折れ線グラフ」「軸ラベル」等の不要な文字が残っているため削除すべきである。また、9頁の都市構造図について、画像が粗く見づらい。最終段階までには鮮明なものに修正した方がよいと考える。
浅見副参事	グラフの不要な文字は削除する。都市構造図は過去の地図を基に、職員が手作業で作成している。精度を高め、製本に向けて整えていく。
大澤委員	野口委員の発言に関連して、「からだ豊か」という表現について、漢字の旧字体が「體」であることも踏まえると、表現として不自然に感じる。
浅見副参事	表現の見直しを検討する。
大澤委員	馬場委員の発言にもあったが、資料12の9頁の都市構造図の解像度が低いのは望ましくないのではないか。都市構造図は都市計画マスタープランを基にしているのであれば図のデータが残っているはずである。また、

発 言 者	発 言 内 容
浅見副参事	<p>グラフも不要な文字は削除すべきである。</p> <p>地図の解像は、製本に向けて整えていく。グラフの不要な文字は削除する。</p>
大澤委員	<p>資料12の12頁「5 計画の基本的視点」の「(5) デジタル技術の進展に対応した行政運営」の「安全・安心にデジタル技術の恩恵を享受できるまちづくりの推進」について、具体的なイメージが湧かない。「安全・安心に」の意味が、「デジタル技術という手段を安全・安心に使える」という趣旨なのか、あるいは「デジタル技術を通じて安全・安心なまちをつくる」という趣旨なのか、不明である。</p>
浅見副参事	<p>デジタル技術の活用に当たっては、個人情報取り扱いや犯罪等の懸念が想定される。利用者に負担や懸念が生じないように、技術の進展も踏まえながら対応していきたいという趣旨であるため、前者・後者どちらの意味合いでもある。</p>
大澤委員	<p>資料12の13頁「6 施策の大綱」の「第3章 健康で心豊かに過ごせるまちづくり（健康・スポーツ・福祉）」の目標にある「住み慣れた地域」という表現について、今後コンパクトシティという考え方が進む中、「住み慣れた地域に住みたい」という人もいれば「駅周辺に住み替えたい」という人もいるだろう。「住み慣れた地域」に限定する表現は場合によっては、誤解を招くおそれがあると考える。</p>
浅見副参事	<p>「住み慣れた地域」は、主に福祉分野で用いられる表現である。移住意向者の視点も含め、表現について改めて検討する。</p>

発 言 者	発 言 内 容
岡崎委員	資料12の7頁「(2) 財政見通し」の「◆計画期間における財政見通し表」の各表及びグラフに単位を表記してほしい。
浅見副参事	表及びグラフに単位を表記するよう修正する。
岡崎委員	資料12の12頁「(4) 安全・安心な生活環境と都市(まち)の持続性の確保」について、「都市(まち)」と記載されているが、「まち」の表記は「街」「町」「都市」など多様であるが、ここはひらがなの「まち」とした方がよい。他の箇所は「まち」の表記となっており、統一性の観点からも検討してほしい。
浅見副参事	表現の統一性を踏まえ、どの表記が適切か検討する。
黒瀧委員	資料12の7頁について、先ほどの説明では歳入歳出の乖離は「何もしなかった場合」とのことであった。一方、本文には「未確定の制度変更等の影響といった変動要素については見込んでいません」とあり、説明と整合していないように見える。
浅見副参事	当該財政見通しは、現状の財政状況を前提に、新たな収入確保策、事業削減等の対策を講じない場合の姿を示したものであることから、本文と整合していないわけではない。
黒瀧委員	資料12の12頁「5 計画の基本的視点」の「(3) 人と自然が共生した持続可能な社会の構築」にある「脱炭素社会に向けたまちづくり」及び「循環型社会に向けたまちづくり」については、13頁「6 施策の大綱」の「第5章 都市と自然が調和した快適に過ごせるまちづくり(都市環境・自然環境・生活環境)」に含まれると理解している。脱炭素社会

発 言 者	発 言 内 容
	<p>や循環型社会に向けた取組は入間市環境基本計画でも重点的に対応していくこととしている分野であることから、具体的な内容は今後策定される基本計画での記載を期待する。</p>
浅見副参事	<p>当該分野は、重要な視点であると認識している。基本計画の策定において、意見を踏まえて検討する。</p>
三木会長	<p>それでは、議題（１）「市民説明会・パブリックコメントの実施結果について」及び（２）「次期入間市総合計画・基本構想案」については、以上で終了とする。なお、基本構想案に係る協議は一通り完了したため、本日の意見を踏まえて、修正したものを、成案とする。</p> <p>次に、議題（３）「今後のスケジュールについて」、事務局に説明をお願いする。</p>
齊藤副主幹	<p>今後のスケジュールについて、資料に沿って説明する。</p> <p>〔資料８〕に基づいて説明)</p>
三木会長	<p>ただいまの事務局からの説明を踏まえ、意見等はあるか。</p>
委員一同	<p>（意見なし）</p>
三木会長	<p>それでは、議題（３）「今後のスケジュールについて」は終了する。続いて、議題（４）「その他」について、事務局から何かあるか。</p>
齊藤副主幹	<p>今年度の審議会は、本日をもって終了となる。次回の審議会は、令和８年４月２３日（木）午後１時３０分から、入間市役所Ｃ棟５階５０１会議室にて開催予定である。なお、開催通知は４月上旬に送付する。</p>

発 言 者	発 言 内 容
三木会長	本日の議題は、これですべて終了である。以上で、閉会とする。
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p>	
<p>令和 8 年 3 月 5 日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>三木敏正</u></p> <p>議長が指名した者の署名 <u>大澤昭彦</u></p>	